

## 口腔内フローラの制御と保健指導で 歯科医院のアウトカム(成果)を健康長寿へ



鶴見大学歯学部探索歯学講座教授

花田 信弘

歯科医師の使命は、歯科医師法第一条\*に示されています。「国民の健康な生活を確保する」ことです。8020達成者をアウトカム(医療の成果)とする歯科医院は増加していますが、歯科医療及び保健指導により「国民の健康な生活を確保する」ことをアウトカムとする歯科医院は未だに少数です。医学全体の領域で見れば、歯科矯正や補綴治療によって食生活と審美や言語コミュニケーションを維持し、口腔常在細菌叢を独占的に制御する歯科医院は予防医学の第一線機関です。歯科医師には、歯科医院が予防医学を実践する機関であることを自覚し、歯科医院のアウトカム(成果)を歯を残す「8020」から健康な80歳を大量に輩出する「8020」へ転換することが求められます。つまり、歯科医院のアウトカムを口腔領域から全身領域、「健康長寿・健康寿命の延伸」へ拡大することが時代のニーズに合致する方向性なのです。日本国政府は、「治療重点の医療から、疾病の予防を重視した保健医療体系へと転換を図っていく」ことを2005年に明らかにしました(医療制度改革大綱、政府・与党医療改革協議会)。この方針に沿って、翌2006年には高齢者医療確保法が成立しています。この法律の中で特定健康診査・特定保健指導の実施が定められ、2008年からすべての医療保険者が特定健康診査・特定保健指導を開始しています。開始当初は歯科とは無縁だったこの事業も昨年(2018年)から歯科との接点を見出し、歯科医院が特定健康診査・特定保健指導を行う環境が整備されてきました。我が国が世界に先駆けて生み出した特定健康診査・特定保健指導こそ歯科医院が率先して担うべき「未病」対策事業です。

「未病」は、病気になってからの治療よりも、病気になる前の治療が重要という予防医学の概念を表す言葉です。病気は大きく分けると感染症と非感染症(生活習慣病)に分かれます。感染症対策はワクチン接種、抗菌薬投与が基本です。感染症対策には、病原体の体内侵入を迎え撃つ口腔内フローラの制御が含まれます。口腔内フローラはバイオフィルムを形成しているため、ワクチン接種、抗菌薬投与では制御が困難です。歯科医師、歯科衛生士による歯面クリーニングや3DSセラピーによる細菌置換療法を定期的に受ける必要があります。

感染症対策の次は、非感染症(生活習慣病)対策です。生活習慣病は、厚生労働省が21世紀の国民健康づくり運動(健康日本21)の中で述べているように、食習慣、運動習慣、休養、

喫煙、飲酒、歯の健康(生活習慣の6つの要因)が、その発症・進行に関与する疾患群です。この6要因に介入し、改善することが生活習慣病の未病対策なのです。歯科医院が本格的に生活習慣の6要因に介入する事業を始めるためには、まずはじめに特定健康診査・特定保健指導の登録機関になることが大切です。口腔内フローラの制御を業務独占している歯科医院でなければ生活習慣病を予防する特定保健指導ができないと考えられます。

\* 歯科医師法第一条「歯科医師は、歯科医療及び保健指導を掌ることによつて、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」

#### 【略 歴】

1981年 九州歯科大学卒業  
1985年 九州歯科大学大学院修了  
1987年 米国ノースウェスタン大学医学部博士研究員  
1990年 岩手医科大学歯学部助教授  
1993年 国立予防衛生研究所部長  
1997年 国立感染症研究所部長  
2002年 国立保健医療科学院部長  
2008年 鶴見大学歯学部探索歯学講座教授  
2019年 鶴見大学大学院副研究科長  
現在に至る。

この間、厚生労働省健康日本21計画策定委員、内閣府新健康フロンティア戦略賢人会議委員、内閣府消費者委員会委員、日本歯科医学会学術委員長、九州大学大学院教授（厚生労働省併任）を務める。現在、NEDO 評価委員、日本歯科大学、明海大学、東京理科大学光触媒研究センターの客員教授、東京医科歯科大学、長崎大学の非常勤講師を併任。

## これからの歯科にもとめられる睡眠歯科医療



日本大学歯学部口腔外科学講座 主任教授  
日本睡眠歯科学会理事長 外木 守 雄

多くの日本人は睡眠不足に悩んでおり、「睡眠負債」という言葉が広く社会に知られています。その中でも閉塞性睡眠時無呼吸症（Obstructive sleep apnea : OSA）は、特に歯科医療と深く関連しており、先生方の外来にも多くの相談が寄せられているものと思います。この病気は、睡眠中に気道が舌や軟口蓋の軟組織によって繰り返しふさがれることで発生し、これにより呼吸の停止が起こり、睡眠が阻害され安眠でないことから、日中の強い眠気や集中力の低下などの症状がみられる病気です。ある調査によると、日本人男性の OSA 潜在患者は500万人にのぼるとの報告もあり、歯科での治療の重要性が高まっています。この OSA の代表的な治療法には外科的治療、経鼻的持続陽圧呼吸（continuous positive airway pressure、以下 CPAP）治療、および口腔内装置（oral appliance、以下 OA）による治療がありますが、OA には、患者にわかりやすい利点でもある“いびき”が止まるという効果があります。これは OA の持つ優位性であると考えます。また、OSA の第一選択とされている CPAP と比較しても、携行性が良いことも大きな利点となります。このことから、現在、欧米では、CPAP 治療よりも OA の方が、使用率が高い状況となっていますが、日本ではいまだに社会的に広く普及し、歯科医療としても一般的な治療とはなっておりません。この OA に関しては、平成30年度保健改定で副子に関する項目が整理され、睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置 1、2 が導入されましたが、その適応にはより精度の高い対応が求められております。そこで、今回、我々歯科医師が日常診療で対応すべき、睡眠関連呼吸障害についてその基礎をわかりやすく説明し、歯科医療との関わり、特に OA の適応、作製時のコツ、適切な医科歯科連携のあり方などをお話ししたいと思います。

また、これに加えて、近年 OSA の根本的な治療法として顎骨・歯列の拡大矯正治療や顎顔面外科手術による顎骨の拡大などが注目されていますが、これは、顎が小さい事で、睡眠呼吸障害がある場合、顎骨の発育時期に適切に上下顎を成長発育させ、OSA の発症を未然に防ごうとする考え方であり、最新の睡眠歯科治療法の実際をなども解説したいと思います。

睡眠歯科医療は、睡眠呼吸障害の改善のみならず顎口腔機能の向上に役立つものなので、明日の歯科医療において非常に重要な領域となると確信しております。皆様の日常診療のお役に立てれば幸いです。

## 【経歴】

1983年 東京歯科大学 卒業 歯学博士

2002年 Stanford 大学医学部機能再建外科学教室 睡眠外科  
(現在 Master fellow)

2012年 日本大学歯学部口腔外科学講座口腔外科学分野 教授

2016年 日本大学歯学部口腔外科学講座 主任教授 (講座再編による)

## 【関連学会など】

日本睡眠歯科学会：理事長 / 認定医・指導医

日本睡眠学会：理事 / 睡眠医療歯科専門医

日本口腔外科学会：理事 (社保委員長) / 専門医・指導医

日本顎顔面インプラント学会：理事 / 認定医・指導医

日本口腔診断学会：代議員 / 認定医・指導医

外科系学会社会保険委員会連合 実務委員 (日本口腔科学会選出)

歯科系学会社会保険委員会連合会長、日本歯学系学会協議会副理事長

## 【賞】

1. Awards best clinician; from Centro Nazionale Adroterapia Oncologica Italy

As a report of "The Role of Dentistry for the Patients with Heavy-Ion Radiotherapy in Head & Neck Cancer"

2. Awards best surgeon & leader for sleep surgery : from California Sleep Educational Foundation.

Prof Dr. Dr. Nelson Powell from Stanford University

## 【最近の睡眠関連著作】

1. 睡眠のトリビア2 第1版1刷、pp111-114、中外医学社、東京、2016.

2. 閉塞性睡眠時無呼吸を歯科医師としてどう診るか? そのイビキ、歯科で治るかも知れません.  
pp69:33-40、日本歯科医師会雑誌、東京、2017.

3. 適切な顎顔面発育は閉塞性睡眠時無呼吸症を予防できるのか.  
pp15:8-14、顎顔面口腔育成会誌、東京、2017.



## 口腔内スキャナが悲鳴をあげるくらい デジタルデンティストリーを使い倒す方法 ～口腔内スキャナ、これを知らずに使うと失敗する?～

合同会社キャドラボジャパン

代表 古澤清己

口腔内スキャナ、販売台数が伸びているようです。安価なスキャナが、今後発売されるなどという噂も飛び交っています。実際のところは不透明ですが、最近の歯科のデジタル化の普及具合を見ると有り得ないこととは言えません。

しかしこのまま口腔内スキャナの使用が急速に拡大すると「大変なこと」になると警告します。それは歯科用 CAD/CAM の根幹技術である「工業 CAD/CAM」の理解不足に起因することです。「口腔内スキャナって使えないね～？」ではなく、「口腔内スキャナって使えるよ！」となるためにはどうすればいいのか？

本講演でマテリアルとメソッドの関係性をクリアにし、口腔内スキャナを使い倒して、患者さん・歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士の4者すべての方々幸せになる方法を、工業系の方々とガッチリ交流してきました演者がお話します。

## 【略 歴】

合同会社キャドラボジャパン（長野県安曇野市）代表

1988年 3月 松本歯科大学衛生学院卒業

歯科技工所勤務の後

1989年 5月 株式会社モリタ入社

2003年 4月 日本スコラ株式会社入社

2013年 4月 合同会社 CAD LABO JAPAN 設立

## 【会社概要】

合同会社キャドラボジャパン

設 立 2013年 4月 1日

事業内容 歯科技工所へ歯科用 CAD/CAM の導入支援・教育等

## 【著書等】

「月刊歯科技工」2015年 7月号～12月号 連載

「今日からできる！歯科用 CAD ソフトウェアの設計・操作コトハジメ」

「月刊歯科技工」2016年10月号～2017年5月号連載

「臨床に活かす！歯科用 CAD ソフトウェアの設計・操作 アドバンス」

「歯界展望」2018年 1・3・5・7・9・11月号連載

「人間工学に基づく 目からウロコの支台歯形成」

## 著書

はじめての歯科用 CAD exocad を用いた操作・設計ガイド（2018年10月刊）



## 歯科衛生士の視点で考える口腔機能発達不全症

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

歯科衛生士 水 上 美 樹

現代社会において、子どもの食事情は私の子供の頃より随分変化しています。これは、子ども達が変わってきたというよりも、育児をする保護者の生活の変化によるものが大きいのではないのでしょうか。2015年に日本歯科医学会が定型発達児の幼児をもつ保護者に調査した報告によりますと、保護者の考える食に関する相談内容では、「子育ての方針が異なる」が第1位でしたが、他に「忙しくて手をかけてあげられない」、「相談する人がいない」など、保護者の食事に関する困りごとはかなり深刻であることが判りました。1994年に摂食機能療法が保険導入されましたが、この対象となる小児は、発達遅滞などの障害を有する者となっており、定型発達児の摂食に関する管理・指導は保険診療外で行われていました。

しかし、同様の日本歯科医学会調査で定型発達児の保護者が感じる子どもの食事に関する心配事は、「偏食」、「食事時間」、「よく噛まない」、「食べるのを嫌がる」など、多岐に渡る回答が出されており、一般歯科診療所でこれらの相談を受けている事も判りました。

このような背景によって、2018年4月に定形発達児を対象として、各ステージごとの口腔機能獲得に遅れが認められた場合に、「口腔機能発達不全症」(以下、不全症)という診断のもと管理・指導を公的医療保険の対象として診療が受けられる事になりました。

不全症の診断基準を大別すると咀嚼機能、嚥下機能、食行動、構音機能の他に栄養や呼吸の問題がその他として栄養や呼吸の問題があります。

では、これらの問題を歯科衛生士としてどのように捉え、かかわっていくのかという事になります。まず、不全症の対象児の多くは摂食機能がまだ、未熟であるか未獲得であるという事を前提にしなければなりません。したがって、摂食機能の正常発達の視点から何処に問題があり、症状が出現しているのかを見極める必要があります。さらに、摂食嚥下機能に問題がある場合、保護者、教育者、医療職など職種間の意識や対応の共有も必要となる場合もあります。この不全症への対応は、子どもが食事を楽しみながら機能の獲得を目指せるように、保護者へのアドバイスが中心であり保護者の支援も考慮した指導・管理をして頂きたいと思えます。

本講演では、新たに医療保険に導入された口腔機能発達不全症の理解を深めていただくと共に、歯科衛生士がどのように対応していくのかのポイントをお話したいと思います。

## 【略 歴】

日本女子衛生短期大学(現 神奈川歯科大学短期大学部) 卒業  
東京女子医科大学歯科口腔外科入局  
昭和大学歯学部口腔衛生学教室入局  
東京都立東大和療育センター勤務  
日本歯科大学附属病院勤務  
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック  
徳島大学口腔科学教育部口腔保健学専攻(修士課程) 口腔機能管理学分野修了  
徳島大学口腔科学教育部 口腔保健学専攻博士後期課程入学  
現在に至る

## 【学会等】

日本摂食嚥下リハビリテーション学会理事・評議員  
公益社団法人日本歯科衛生士会認定歯科衛生士委員会委員  
公益社団法人日本歯科衛生士会生涯研修プログラム向上委員会委員  
一般社団法人日本障害者歯科学会評議員  
一般社団法人日本障害者歯科学会認定歯科衛生士審査委員会委員  
一般社団法人日本障害者歯科学会問題作成委員会委員  
日本歯科専門医機構委員

## 【共著執筆】

医歯薬出版 歯と口の健康百科  
医歯薬出版 歯科保健指導ハンドブック  
永末書店 介護保険対応型 歯科保健・医療ガイドブック  
医歯薬出版 歯と口の健康づくり  
メジカルフレンド社 嚥下リハビリテーションと口腔ケア  
医歯薬出版 摂食・嚥下障害の評価法と食事指導  
医歯薬出版 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科  
学研 摂食・嚥下障害の理解とケア  
財)東京都高齢者研究・福祉振興財団 実践! 介護予防 口腔機能向上マニュアル  
医歯薬出版 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション  
医歯薬出版 上手に食べるために③ 摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント  
摂食嚥下機能の発達 1) 摂食嚥下機能の正常発達 臨床栄養 vol 133, 2018  
小児の口腔機能発達評価マニュアルを応用した口腔機能発達の支援 ～食べ方・栄養編～  
日本歯科医師会雑誌 vol 71, 2018  
いま注目の口腔機能発達不全症とは!? デンタルハイジーン vol 38, 39, 2018  
口腔機能発達不全症をみつける目を養おう 一 小児の口腔機能の正常な発達のために  
開業医ができることー 8 体重がなかなか増えません ヒョーロン vol 79, 2019

など



## ①15:00~15:45 サンスター(株)

## チェアサイドから始めるオーラルフレイル予防

サンスター(株) 研究開発本部 学術情報部 岩隈 好恵 (歯科衛生士)

近年、注目されている「オーラルフレイル」。滑舌の低下や食べこぼし、わずかなむせ、嚙めない食品の増加など加齢に伴う些細な口腔機能の衰えが進行し、口腔機能障害、低栄養さらには心身の機能低下に繋がる一連の流れをオーラルフレイルと言います。口腔機能は、適切にアプローチすることで改善が期待できることから、地域保健事業や介護予防事業の中で歯科衛生士が関わり口腔機能の維持・向上が図られてきました。さらに現在、口腔機能低下症が保険収載され、歯科診療所内でもオーラルフレイルへの対応が求められています。口腔機能低下症の診断には、口腔衛生状態の不良や口腔乾燥、咬合力低下などを含む7つの項目で検査が行われ評価されます。結果に応じて機能改善や維持を図り、また継続的な関わりから機能低下の予防に努めることが求められます。

歯科衛生士は、様々なライフステージを通じ一人の患者さんに長く携われる数少ない医療専門職です。口腔機能低下症と診断された方への対応はもちろんのこと、長く関われるからこそ日常診療の中で気づく患者さんの些細な口腔の変化を見逃さずに適切な対応を取ること、未然に疾患を防ぐことに貢献できます。今回のセミナーでは、歯科衛生士がチェアサイドで行う患者さんとの何気ない関わりやちょっとした気づきから実践するオーラルフレイル予防についてご紹介するとともに、皆さんと一緒に考える時間となれば幸いです。

## ②15:45~16:30 日本アイ・エス・ケイ(株)

## 急拡大する在宅医療の需要と歯科訪問診療

日本訪問歯科協会 広報担当理事 前田 実男

2018年の診療報酬改定の最大のポイントは、在宅医療の提供実績を要件とした報酬が設定されたことです。医科においては、200床未満の中小病院による在宅医療の提供や在宅患者の受け入れを促し、診療所に対しては在宅患者の受け入れ数の拡大とともに外来中心の診療所へ在宅医療への参入を促す改定になっています。この背景にあるのは、現在の医療提供体制では今後の在宅医療の需要増加に対応できないということです。

2015年時点で訪問診療を受けている患者は全国で約70万人。これが2025年には約100万人に達すると推計されています。

これらを考慮すると、歯科の訪問診療にも大きな変化が求められるようになります。

以前は義歯の調整だけでもありがたがられていましたが、今では、専門的口腔ケアから摂食機能療法、さらに栄養管理までが求められるようになりました。また、在宅で療養されている独居の患者さんが増え、さらに、認知症の患者さんの増加、インプラントを装着されている患者さんの増加など、訪問診療では、これまで以上に治療が難しくなるケースも増えてくることが予想されます。

このような中、訪問診療に取り組む歯科医療機関には、どのような知識やスキルが求められるようになるのか、歯科診療所が訪問診療を増やすには、具体的にどのようなことが必要になるのか、一般的な歯科医院が無理なく展開できる取り組み方をお話いたします。

## ①10:00~10:45 ライオン歯科材(株) 西日本営業所

## お子さんの安全、安心に配慮した予防製品のご紹介

ライオン歯科材(株) 統括部 製品マネジメント室 山本 学

超高齢社会を迎えた現在、生涯にわたる口腔の健康を維持していくためには、小児期からの良い口腔育成、歯科疾患の発症予防が非常に重要です。

また、少子化は進んでいますが、お子さんへの口腔内への保護者の関心はむしろ高まっており、子供用オーラルケア製品の一人あたりの購入金額は増加傾向にあるとのデータもあります。

今回は、保護者やお子さん安心して使え、お子さんの口腔健康の維持をサポートする予防製品につきまして、その概要をご紹介します。

ご紹介予定製品

- 1) まがる、折れない 安全ハンドル採用の歯ブラシ「EX kodomo F」
- 2) フッ化物配合歯磨剤 Check-Up シリーズからの新製品「Check-Up kodomo 500」

説明製品のサンプルもお渡しします。多数のご参加をお待ちしております。

## ②10:45~11:30 ウエルテック(株)

## 患者さんと協力し合う歯周治療

医療法人社団 アイ・ティー会 武田歯科医院 池田 育代 (歯科衛生士)

もし、皆さんが100歳まで生きるとしたら今はどの辺りでしょうか？ 1/4、1/3？

私はもう少しで折り返しの1/2に近付いていますが、あと50年、健康な口腔内を維持していく方法を知っています。そのため、患者さんの口腔内を拝見する時もどうすれば「100歳まで健康な状態を守る」ことが出来るのかを考えながら日々の臨床に取り組んでいます。そして、どんな風に年を重ねてもらいたいのか？口は健康の入り口と言われています。できるなら最後まで、ご自分の歯で美味しく食事をしながら健康に過ごしていただきたいと思っています。

ですが、歯周治療においては術者側からの一方行のアプローチだけでは良い結果は生まれにくいと感じています。私たち歯科衛生士は歯肉縁下細菌のコントロールを中心に行い、患者さんは毎日の歯肉縁上プラークのコントロールを行う、という役割分担が必要であり、その大部分を担うのが患者さん自身で行うプラークコントロール（ホームケア）になります。

そのためには、効果的で継続しやすい方法を患者さんと一緒に模索し、モチベーションを維持するサポートを行い、患者さんと協力し合うことで相乗効果が生まれ、双方にとってより良い結果に繋がると考えています。今回は、患者さんの協力が得られた歯周治療の症例を皆さんと共有し、未来の健康を手に入れてもらうためのヒントになれば幸いです。

## ③11:30～12:15 (株)モリタ

## モリタが提案する予防歯科“Cresmile(クレスマイル)”

(株)モリタ セールスプロモーション部 予防歯科促進グループ 道廣 香奈

歯科医療は、口腔内のトラブルを“治す”治療から、“予防・メンテナンス”中心の時代へと大きく変化しています。モリタでは「一人ひとりの患者さんにあった予防プログラムを」というキャッチフレーズをテーマに、プロケア・セルフケア、それに伴う検査まで連動し、トータルにご提案させていただくため、Cresmile(クレスマイル)という新たな取り組みをスタートさせていただきました。

Cresmile(クレスマイル)という言葉は“create smile”、「笑顔」と「創造する」という語句を組み合わせた造語です。この笑顔とは、まず患者さんの笑顔、そして皆さま歯科に携わる方々の笑顔を創造する、という意味が込められています。

モリタでは、口腔ケアに必要なプロケア・セルフケア製品はもちろん、受付・問診、診査・診断、医療面接、口腔衛生指導、リコールからメンテナンスまでトータルでご提案できる様々な製品を幅広く取り扱っております。

今回は、歯科医師・歯科衛生士の皆様が活用する「プロケア製品」と、患者さん自らが行う「セルフケア製品」のうち、プロケアでご使用頂けるパウダークリーニング「エアフローハンディ」、そして主にセルフケアとしてお使い頂ける「ライオン歯磨剤・歯ブラシ」、音波式電動歯ブラシ「ソニックエアー」、デンタルガム「ボスカF」などを中心にご紹介させていただきます。

医療現場やご自宅で、明日からすぐにご活用頂ける情報をお届けいたしますので、歯科医院の予防メニュー構築をお考えの歯科医師・歯科衛生士の皆様はぜひご参加ください！

## ④12:15～13:00 長田電機工業(株)

## 地域の歯科診療所で行う口腔機能低下症の評価と計画の実際

朝日大学障害者歯科学分野 准教授 谷口 裕重(歯科医師)

医療法人静心会 桶狭間病院 藤田こころケアセンター 渡邊 理沙(歯科衛生士)

昨年(2018年)4月の診療報酬改定で「口腔機能低下症」が保険収載されたことは周知の事実かと思えます。この改定で口腔機能管理料、検査料が算定可能となったことは、年々増加している高齢者に対して、歯科医療者が“歯科治療に留まらず口腔機能を管理すべきである”という責務を与えられたように感じます。この管理が地域歯科診療所で実践されることによって、各地域で課題となっている要介護・要支援高齢者の減少に繋がり、介護保険料削減に寄与することも期待できます。

しかし、1年経過した現在でも実際の臨床においては、“「口腔機能低下症」への対応は難しい”といった声をよく耳にします。その理由は、「対象患者(患者の選定基準)がわからない」、「知識がない」、「時間がない」、「評価するための器材を持っていない」、さらには「評価後にどのように管理したらいいかわからない」など様々です。

本講演会では上記の問題を解決し、明日からの臨床に「口腔機能管理」を導入するためのポイントについて症例を提示しながらご紹介したいと思えます。

## 東海信越地区歯科医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

- 「地域保健部Ⅰ・地域保健部Ⅲ」コーナー
- 「閉塞性睡眠時無呼吸における口腔内装置OA治療」コーナー
- 「口腔機能検査機器体験」コーナー
- 「口唇閉鎖力測定器りっふるくん」コーナー

(一社)愛知県歯科技工士会

- 「テーブルクリニック」 「(一社)愛知県歯科技工士会カービングコンテスト優勝作品展示」
- 「ADTA トレーニングセンター受講生作品展示」

東海歯科用品商協同組合企画講演

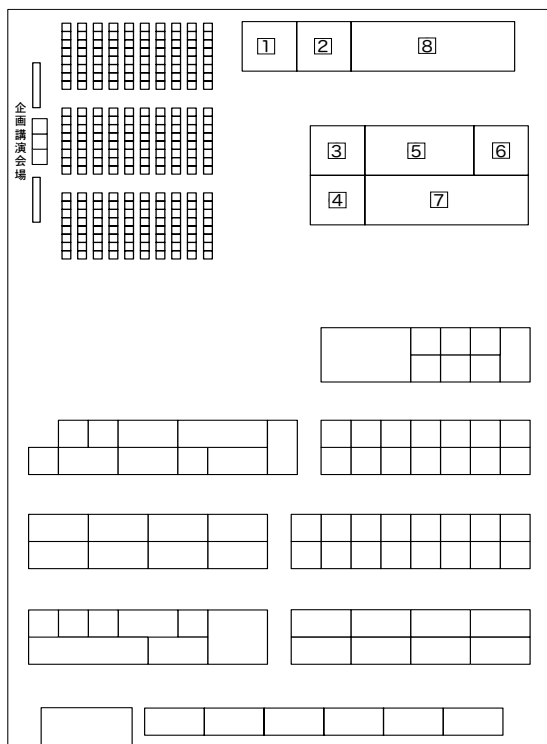
- 15:00 ①サンスター(株)「チェアサイドから始めるオーラルフレイル予防」
- 15:45 ②日本アイ・エス・ケイ(株)「急拡大する在宅医療の需要と歯科訪問診療」

中部日本デンタルショー

- 「歯科に関する本なんでもコーナー」
- ①(株)日本歯科新聞社                      ②(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ                      ③わかば出版(株)
  - ④(有)医学情報社                              ⑤(株)デンタルダイヤモンド社                              ⑥インターアクション(株)
  - ⑦クインテッセンス出版(株)                      ⑧医歯薬出版(株)    ⑨(一財)口腔保健協会
  - ⑩(株)永末書店

### 配置図

2階 第1ファッション展示場



- ①②③④ 愛知県歯科医師会コーナー
- ⑤ 復職支援コーナー
- ⑥ 医療信用組合
- ⑦ 愛知県歯科衛生士会コーナー
- ⑧ 愛知県歯科技工士会コーナー

## 東海信越地区歯科医学大会 ワークショップ

**(一社)愛知県歯科医師会**

- 「地域保健部Ⅰ・地域保健部Ⅲ」コーナー
- 「閉塞性睡眠時無呼吸における口腔内装置OA治療」コーナー
- 「口腔機能検査機器体験」コーナー                      「口唇閉鎖力測定器りっぶるくん」コーナー
- 「歯科衛生士復職支援」コーナー                      「開業相談・税務相談」コーナー

**(一社)愛知県歯科技工士会**

- 「テーブルクリニック」    「(一社)愛知県歯科技工士会カービングコンテスト優勝作品展示」
- 「ADTAトレーニングセンター受講生作品展示」

**(公社)愛知県歯科衛生士会**

- (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「第14回会員ポスター発表」

**東海歯科用品商協同組合企画講演**

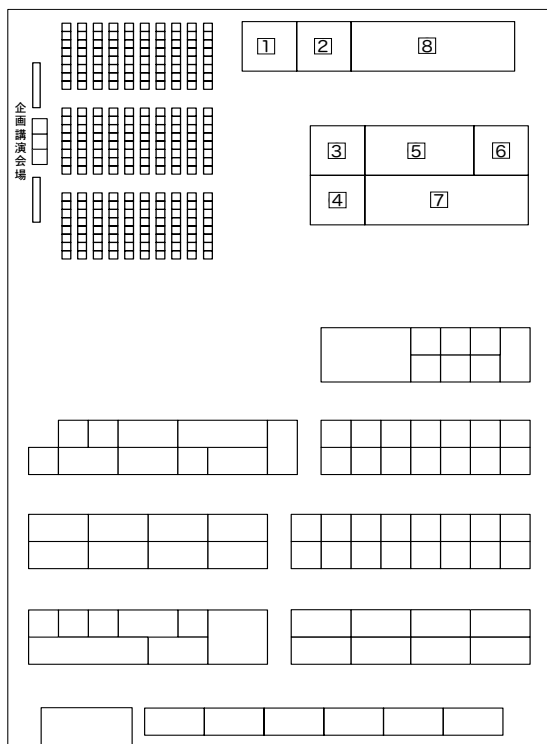
- 10:00 ①ライオン歯科材(株) 西日本営業所「お子さんの安全、安心に配慮した予防製品のご紹介」
- 10:45 ②ウエルテック(株)「患者さんと協力し合う歯周治療」
- 11:30 ③(株)モリタ「モリタが提案する予防歯科“Cresmile (クレスマイル)”」
- 12:15 ④長田電機工業(株)「地域の歯科診療所で行う口腔機能低下症の評価と計画の実際」

**中部日本デンタルショー**

- 「歯科に関する本なんでもコーナー」
- ①(株)日本歯科新聞社                      ②(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ                      ③わかば出版(株)
- ④(有)医学情報社                              ⑤(株)デンタルダイヤモンド社                      ⑥インターアクション(株)
- ⑦クインテッセンス出版(株)              ⑧医歯薬出版(株)    ⑨(一財)口腔保健協会
- ⑩(株)永末書店

### 配置図

2階 第1ファッション展示場



- ①②③④ 愛知県歯科医師会コーナー
- ⑤ 復職支援コーナー
- ⑥ 医療信用組合
- ⑦ 愛知県歯科衛生士会コーナー
- ⑧ 愛知県歯科技工士会コーナー

## 「地域保健部Ⅰ・地域保健部Ⅲ」コーナー

### <地域保健部Ⅰ>

#### 0歳児からの口腔機能育成

身体とともに口腔の成長変化が著しい乳児期の口腔を育成するには、歯が萌出する前から歯科医師が関わるのが重要とされるようになってきました。0歳児からの口腔機能育成の取組は平成27年度から準備を始め、28年度から事業化し、今年度で4年目となりました。そこで昨年の10月に山口県で開催された第83回全国学校歯科保健研究大会にてこれまでの取組をポスター発表した結果、一昨年に引き続き審査員特別賞を受賞しましたので展示を行います。

#### 幼稚園調査「年長児における生活習慣が口腔機能に与える影響について」

近年、メディアと接する時間や睡眠時間の長短などの生活習慣が、児童らの身体に影響を与えていることが報告されています。生活習慣の基礎を作る幼児期に口腔内の診査指導だけでなく、生活習慣と合わせた保健指導を行うことが幼児の健全な成長発育を見守る園歯科医として求められています。一昨年、県内の幼稚園で年長児を対象に幼児の生活習慣が口腔内環境、口腔機能にどのような影響を及ぼしているのかを調査し、その結果を第82回全国学校歯科保健研究大会においてポスター発表して審査員特別賞を受賞しました。

そしてその結果、昨年の9月マレーシアにて開催された第10回学校歯科保健アジア会議にて内容の一部をポスターにして発表しましたので展示を行います。ご来場いただければ幸いです。

### <地域保健部Ⅲ>

#### 「当会「障害者（児）歯科口腔保健推進研修事業」について

##### 研修会受講者のアンケート結果より

愛知県歯科医師会では、障がい者（児）の歯科疾患の予防および重篤化を防ぐことを目的に、障害福祉サービス事業所施設職員に対して口腔ケアの講習会を年2回実施している。今回、事業所における歯科口腔保健サービスの提供状況を明らかにし、今後の歯科保健対策の基礎資料を得る目的で、受講者にアンケートを行った。口腔ケアは95%の事業所が実施し、食後歯磨きの時間を取っている事業所が多かった。今後は施設職員と連携した口腔管理を支援するために本事業の継続が望まれることが示唆された。

#### 「当会「障害者（児）歯科口腔保健推進研修事業」について

##### 歯科衛生士による出張講習会

障がい者の口腔衛生状態の向上を図るため、平成30年から障害福祉サービス事業所の施設職員を対象に、歯科衛生士による出張講習会を実施している。今回出張講習会を受講した施設に対して、各施設の口腔清掃の実施状況と問題点を明らかにするためにアンケートを行った。施設職員の多くは障がい者の口腔ケアについて学習する機会が少なく、知識不足も考えられる。今後も歯科衛生士による出張講習を継続し、各々の障がい特性や口腔内状況、各施設の事情やニーズにあった支援を提供する必要があることが示唆された。

#### 「介護保険施設入所者の口腔管理と歯科との連携に関する質問調査」

近年、介護現場において、口腔管理の重要性が認知されるようになってきた。介護職員が入所者の日常の口腔ケアを行う際、どのような問題があるのかを知るために、介護職員向け口腔ケア研修会の受講者108名を対象に質問票調査を行った。多くの回答者が、施設協力歯科医がいるにも関わらず口腔ケアで困っており、施設協力歯科医と介護職員の間で、十分な連携が取れていない施設が多いと思われる結果であった。施設協力歯科医は歯科診療を行うだけでなく、日常の口腔管理の協力体制を築いていく必要があると考えられた。

「愛知県における介護保険施設協力歯科医の実態調査

—介護保険施設調査から見る訪問歯科診療の現状—

老人施設入所者の口腔管理の充実には施設における歯科の介入状況の把握が必要であるが、実態を表す資料はほとんどない。今回、愛知県の753高齢者施設に質問票調査を行い介護保険施設のみを分析対象とした。回答施設の約9割は訪問歯科診療が行われており、歯科衛生士の訪問頻度、勤務状況から、継続的な口腔衛生管理の重要性や施設における歯科衛生士の需要の高さが示唆された。一方、歯科との入所者カンファレンスの実施割合の低さから、歯科と介護職員が連携した口腔管理には至っていないことが示唆された。

## 「歯科衛生士復職支援」コーナー

### ○「愛知県歯科衛生士バンク」をご存知ですか？（バンク登録受付）

愛知県歯科衛生士バンクは、歯科衛生士の資格がある方、歯科衛生士養成校の学生さんの誰もが登録できるようになり、2019年10月18日現在 1035名の方に登録いただいています。

愛知県歯科衛生士バンクのホームページ「つないでネット」では、復職希望者に、ネットでのカムバック研修会の申し込みや復職相談、愛知県歯科求人・求職サイトを利用した求人情報の提供を行っています。バンク登録いただいた方には、3か月に一度メルマガを送っていますが、復職を希望する歯科衛生士さんだけでなく、現在就業中の皆様にも役に立つ情報を、無料で配信しています。歯科衛生士さんに寄り添える「つないでネット」にしていくためにも、ご協力をお願いします。今回、登録いただいた方には、歯科衛生士として役に立つグッズをご提供いたします。

同時に、ブースでは、Hu-Friedy社の協力を得て、SRPに必要な器具展示、「グレーシーキュレットの選び方、正しい使用法」ワンポイントレッスンも行っています。ぜひお立ち寄りください。

## 「開業相談・税務相談」コーナー

### ○開業相談

愛知県歯科医師会 医療管理部では、新規開業をお考えの先生を対象とした開業相談コーナーを毎年設置しております。新規開業には様々な手続きや知識が必要であるほか、法令や諸規則の厳守が大変重要になってきています。私ども医療管理部では開業を希望する歯科医師にむけて「開業の手引き」を作成しておりますので、是非ともご活用していただければと思います。今すぐの開業をお考えでない勤務医の先生も、まずはお気軽にお立ち寄りいただき、ご相談ください。また、会員の先生で、親子間の医院継承でお困りのことが有りましたら、こちらにご相談に乗らせていただきます。開業に関する法令等、毎年のように更新されており、知らなかったでは済まされない時代になってきています。安心・安全な診療体制を構築するお手伝いをさせていただきます。

### ○税務相談

愛知県歯科医師会顧問税理士である小澤良一先生から直接、税務に関する相談にお答えいただけます。医院経営に関する内容から、相続税など経理や税金に関する疑問やお悩みを相談してみませんか。分かり易くアドバイスいただけます。



## 「閉塞性睡眠時無呼吸における口腔内装置OA治療」コーナー

共催：愛知医科大学病院 歯科口腔外科

閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) は、睡眠中に無呼吸・低呼吸を生じる疾患で、生活習慣病、心疾患、脳卒中などを合併することが知られています。また、日中の眠気に伴う居眠り運転や労働災害の原因と警鐘され早期発見、治療が重要な疾患です。

OSA は医科における睡眠検査で診断され、本邦では、無呼吸低呼吸指数 (AHI): 20/h 以上に持続陽圧呼吸療法 (CPAP) が導入され、AHI: 20/h 未満または CPAP 使用困難な患者に口腔内装置 (OA) 治療が選択されます。OA 治療は医科から歯科への診療情報提供により歯科医師が行う治療であり、下顎前方位を保持する口腔内装置を就寝時に装着することで、肥満や小顎などに起因した上気道狭窄を緩和し、OSA の改善を図ることが可能です。OSA において医科から歯科への期待が膨らむ一方、我々歯科医は経験不足や医科歯科連携への戸惑いから、OA 治療に不安を抱えていないでしょうか。

今回、参加される先生方が、睡眠医療をより身近に感じ OA 治療に取り組みやすくなるように、OA 治療の概略、関連診療機器の展示を行うとともに、OA 治療に熟知した専門医が臨床の疑問点に対して、ご相談させていただきます。

## 「口腔機能検査機器体験」コーナー

共催：(株)ジーシー

2018年4月に「口腔機能低下症」に関わる検査料と管理料が保険導入されました。

口腔機能低下症で必要なことは、検査することで現状を知り、その上で口腔機能の維持・向上を目指すことであると言われております。しかし、実際に誰がどうやって行うのか、どう算定するのか、どう指導していくのか、分からないという声をお聞きます。検査は、歯科医師の指示により、歯科衛生士が検査や管理をすることができ、検査時間は15分程度で行うことが可能です。

本ブースでは、関連検査器機を使った体験により実際の検査方法や手順をお伝えさせていただきます。また検査法や診断法とともに管理計画の立案のポイントや、管理方法の実際についてもご紹介させていただきます。

この機会にぜひお立ち寄りいただきまして体験いただき、ご採用検討いただけましたら幸いです。

## 「口唇閉鎖力測定器りっぷるくん」コーナー

共催：(株)松風

### 「りっぷるくんとりっぷるとれーなーによる口輪筋トレーニングとその評価」

近年口唇閉鎖習慣を持たない小児が増加傾向にあり、口唇閉鎖力の弱い小児は鼻呼吸できずに口呼吸することが知られており、日常的な口呼吸は、口腔領域に悪影響を及ぼすとされています。日本小児歯科学会ではこれらのことに着目し、使い易く測定再現性の高い安価な口唇閉鎖力測定器りっぷるくん（2015年9月発売）と、安全で自宅でもトレーニング可能な専用トレーニング器具りっぷるとれーなー（2016年7月発売）を共同で開発するに至りました。現在、りっぷるくんを用いた口唇閉鎖力測定等による口腔機能評価を行い、りっぷるとれーなーを用いたトレーニングによって口腔機能の回復および発達不全に対処することが可能となりました。

両製品は小児歯科分野のニーズに基づき開発に至りましたが、現在では2019年日本老年歯科医学会でりっぷるとれーなーを使用した高齢者への口輪筋トレーニング効果が報告される等、高齢者歯科分野でも普及しつつあります。多様な分野での口唇閉鎖力に関する臨床的有用性が見いだされ口腔機能回復に両製品が貢献できれば幸いです。

## (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会 「第14回 会員ポスター発表」

本会は歯科衛生士の資質向上を目的に研修事業や情報提供を行っております。この学術大会もそのひとつであり、会員の研鑽の場として、また歯科衛生士業務の多様化に伴う社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指すべく、各々が取り組みを発表いたします。個々が目標を立て未来を見つめる有意義な場となるよう多くの歯科衛生士にご参加いただければ幸いです。

### 記

- 発表 令和2年2月16日（日）10：30～12：00  
\*ポスター展示は歯科医学大会期間中となります。
- 会場 第1ファッション展示場
- 発表者および演題（共同演者につきましてはポスターをご参照ください）
  - 1.「周術期管理センター（仮称）の設立への経過と課題」 斎藤 あゆみ
  - 2.「急性期病院における周術期等口腔機能管理の取り組みについて」 加藤 典子
  - 3.「地域拠点病院における栄養サポートチームでの活動報告」 高橋 真紀
  - 4.「病識と口腔衛生への関心が乏しい先天性第Ⅶ因子欠乏症患者に対する口腔衛生管理の一例」 山腰 睦美
  - 5.「愛知県歯科衛生士会主催の研修会受講者の喫煙に関する質問紙調査」 長谷川 純代
  - 6.「離職対策検討目的に実施した卒後3年未満歯科衛生士への就労実態調査」 田島 理矢子

### ●要旨

#### 1.「周術期管理センター（仮称）の設立への経過と課題」

○斎藤あゆみ（名古屋大学医学部附属病院 医療技術部臨床工学・歯科部門）

名古屋大学医学部附属病院では、より安全に手術を行うため、周術期を関連各科が横断的に支援する周術期管理センター（仮称）の設立を目指している。歯科口腔外科は、全身麻酔手術を受ける患者に対して口腔機能管理の必要性を判断し、周術期の治療計画を立案する。今回、われわれが行っている周術期管理センター（仮称）の設立に向けての進捗状況・課題および現在の口腔機能管理の現状を報告する。

## 2. 「急性期病院における周術期等口腔管理の取り組みについて」

○加藤 典子 (愛知医科大学病院 歯科口腔外科)

当院は21診療科・病床900床からなる急性期病院であり、年間5000例以上の全身麻酔手術を行っている。2014年の新病院開設と同時に周術期等口腔機能管理(以下:周管)を開始し、2017年からは麻酔科周術期センターにて歯科医師による術前口腔内スクリーニングを、また、2018年の歯科衛生士(以下:DH)増員を契機にDHの周術期専従体制を確立した。今回、当院の周管の取り組みとその効果に関して後ろ向きに調査したのでその結果を報告する。

## 3. 「地域拠点病院における栄養サポートチームでの活動報告」

○高橋 真紀 (名古屋第二赤十字病院)

歯科衛生士がNST チームに参加し、口腔内状況を明らかにすることで、栄養状態の改善につなげる事ができる。他職種チームの中で歯科衛生士だからこそできる口腔衛生管理・口腔機能管理は、患者、病院双方に意義を持つことになる。また、入院中だけにとどまらず、退院後の生活にもつなげることで、患者のADL・QOLの向上、地域拠点病院としての役割を果たすことになる。

## 4. 「病識と口腔衛生への関心が乏しい先天性第Ⅶ因子欠乏症患者に対する口腔衛生管理」

○山腰 睦美 (藤田医科大学病院 歯科・口腔外科)

病識が低く口腔衛生への関心が乏しい先天性第Ⅶ因子欠乏症(F7D)患者に対し、歯科衛生ケアプロセスを展開し、歯科保健指導と歯周基本治療を行った。患者は歯肉からの自然出血を主訴に当科を受診し、広汎型重度慢性歯周炎とF7Dに起因した出血傾向と診断された。疾患が及ぼす口腔内への影響について、理解を促すような歯科保健指導と出血傾向に配慮した歯周基本治療を行うことで、歯肉からの自然出血は消失し、口腔衛生習慣が改善した。

## 5. 「愛知県歯科衛生士会主催の研修会受講者に対する喫煙に関する質問紙調査」

○長谷川 純代 (名古屋医健スポーツ専門学校)

歯科衛生士の喫煙状況や受動喫煙の実態を把握するため、2015年5月～2016年10月の間に実施した愛知県歯科衛生士会主催の研修会を受講し、本研究の趣旨に同意の得られた250名に対し、研修会時に質問票調査を行った。加濃式社会的ニコチン依存度調査票(KTSND)、喫煙状況、勤務先の喫煙所有無、禁煙への意識、家族や同居人の喫煙状況の結果から、喫煙する前にタバコに対する正しい認識をもつための教育が重要であると考えた。

## 6. 「離職対策検討目的に実施した卒後3年未満歯科衛生士への就労実態調査」

○田島 理矢子 (公益社団法人 愛知県歯科衛生士会)

愛知県は人口10万人あたりの歯科衛生士就業者数が全国で4番目に低いという報告がある。愛知県歯科衛生士会では、継続的に就労する歯科衛生士確保のため、卒後3年未満の歯科衛生士の離職対策を検討することを目的に実態調査を行った。その結果より現状把握と今後の課題について検討したので報告する。

\* 発表時間内に会場にお越しの方に先着順に抄録をお配りします。

16日(日) 午前10時

## 技術向上のために ～天然歯の色調再現におけるベース色を掴むための検証～

(一社)愛知県歯科技工士会  
第6地区豊田支部 河合 拓人

演者は臨床6年目に突入し、1つの大きな壁に当たった。

現在、歯科技工所に勤務し3年目を迎え、日常臨床において前歯部審美修復の仕事を任される機会が増えてきた。その中で、天然歯に対する色調再現の分析と再現能力の自分の技術の低さに気付いた。シェードテイキングされた画像の目標歯とシェードガイド(VITAPAN classical)とのわずかな色調の違いによって、シェードガイド(VITAPAN classical)通りの色調を再現すれば良いというケースは少ないように感じる。例えるなら、A2なのかA3なのか微妙な差で分からない時が多々ある。暗いA2なのか、明るいA3なのか、中から明るく見えるのか、表層が明るく見えるのか等である。

陶材には各メーカーVITAシェードに合わせた基本築盛があると思うが、その中のエナメル陶材の使用法によってどのような色調再現の変化があるか考察してみることにした。今回、演者が臨床で使用しているGC社イニシャルシリーズ、イニシャルLiSiMTインゴット(ミディアムトランス)、イニシャルLiSi陶材を使用し、検証を行った。検証方法として、MTA1フレームにはデンチンA1、MTA2フレームにはデンチンA2、MTA3フレームにはデンチンA3をそれぞれ築盛し、その上にイニシャルシリーズでスタンダードなエナメル陶材E57、E58、E59、E60、BL-Eを各フレームに築盛・焼成し、計15個のサンプルを製作した。全てのサンプルを一定の条件に保つため、15個のフレームの厚みと焼成した陶材の厚みも全て同じとし、擬似支台歯の上で一定の距離から撮影を行った。

今回の検証は、歯冠中央から切縁にかけての色調再現に注力したものである。結果、サンプルとシェードガイド(VITAPAN classical)とのわずかな色調の違いが確認され、臨床での色調再現に対しての1つの基準が自分なりに確立され、ベース色を決定する際の陶材選択での悩みが解消されたように思う。

本講演では、失敗症例を交えてサンプル製作から臨床での応用までの流れを解説したいと思う。今回この発表を通して、同じような悩みを持っている人のお力になれば幸いである。

16日(日) 午前11時

## 加熱形成器を使用した技工について

(一社)愛知県歯科技工士会  
常務理事 土井 明人

加熱形成器を使用し製作する歯科的装置にはスポーツマウスガードをはじめスプリント、下顎に装着するK3Wスプリントや無呼吸症候群歯科的(気道確保)装置、ナイトガード等あります。平成30年の診療報酬改定で口腔内装置の分類に加え、新たに導入された気管挿管保護用歯科的装置の紹介をさせて頂きたいと思います。

併せて、装着の義務化や推奨が増えてきたスポーツマウスガードですがスポーツ競技人口に対しての装着比率は低いと考えます。スポーツの種類によって、マウスガードへの付与すべき機能や形態があると同時に、ファッション性も求められています。パフォーマンスとモチベーションの向上を目指し、加工性の高いポリオレフィン樹脂を使用しての製作方法、カラーリングやロゴマーク等を埋入したラミネート加工の術式、EVAシートでの加工術式、アスリートへのアプローチ方法、咬合採得についての疑問、マウスガード市場の問題点等をお伝え出来ればと思います。

## 第34回デンタルファミリー余技総合展によせて



愛歯余技クラブ

会長 杉山 乗也

東海信越地区歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時に、第34回デンタルファミリー余技総合展を開催いたします。この展覧会はその名の通り、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、歯科材料商、教育機関、その他歯科関係の皆様とその家族の余暇の作品を展覧いたします。これらの作品が東海信越歯科医学大会、並びに中部日本デンタルショーに華を添えることができましたら幸甚です。

余技は極めて幅広いもので、過去33回にわたり日本画、油彩画、水彩画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、アートフラワー、絵手紙等を展覧してまいりました。今回も小品から時間をかけた大作まで、忙しい合間に少しずつ製作に取り組んだ多数の作品を展覧いたします。

ご参加の皆様には、是非とも余技総合展コーナーにお立ち寄りご観覧下さい。

また、2月16日(日曜日11:00-15:00)には茶席を設けます。ご観覧と共に「憩いの場」、「交流の場」としてご利用下さい。

第34回デンタルファミリー余技総合展を催すにあたりまして、今年度も多くの方々のご協力を頂きました。会場の設営をして頂きました東海歯科用品商協同組合をはじめ、愛知県歯科医師会、愛知県歯科技工士会、愛知県歯科衛生士会、学校関係者、愛歯余技クラブ役員の皆様、そしてとりわけ出展者の皆様はこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

